

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148A	卒業研究(加藤彰浩) Graduation Research	加藤彰浩		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
<p>本授業では、自ら考え、主体的に活動し、調査・研究を行い、各自の興味・関心により設定したテーマについて、論理的思考に基づき、各自の主張を文章にまとめる方法と技術およびそれらを発表するプレゼンテーションに関する知識および技術について学ぶ（DP1・3）。各自が設定するテーマは、「体育・スポーツ」および「発育発達」を中心とし、家政学および教育学的思考に基づいた知識を駆使し、設定することが望ましい（DP2）。</p>							
学修内容				到達目標			
① 資料や文献の検索方法を学び、内容を整理し、まとめる。 ② 各自の興味・関心をもとに、実現可能なテーマを設定する。 ③ 各自に必要な調査・研究方法を調べ、設定する。 ④ 調査した結果をもとに、考察を検討し、文章にまとめる。 ⑤ 研究内容をもとにプレゼンテーション資料を作成し、発表する。				① 資料や文献の検索方法を学び、内容を整理し、人に伝えることができる。 ② 各自の興味・関心をもとに、実現可能なテーマを設定できる。 ③ 各自に必要な調査・研究方法を設定することができる。 ④ 調査した結果をもとに、考察を検討し、文章にまとめることができる。 ⑤ 研究内容をもとにプレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	各授業テーマに合わせ、自分のテーマについて指示された内容についてまとめ、資料を作成することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	指示された内容以外に自分で考え、必要な資料を探し、まとめ、資料を作成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	各授業テーマにおいて、自分の資料や発表に不足している知識および内容を発見し、それを解決するために行動することができる。					
	計画力						
	創造力	各授業において得た知識および明確化した課題を解決しようと各自で資料を検索し、資料作成に生かすことができる。					
チームで働く力	発信力	資料をもとに自分の考えや意見を相手に伝えるように話し、議論することができる。					
	傾聴力	他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解し、自分の研究に生かすことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	授業を休まず、決められた期日までに決められた資料を作成し、発表および提出することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
適時授業中に資料を配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は、卒業必修科目であり、それまでに学んだ全ての科目をもとに大学での学びの集大成となる科目です。							
学修上の助言				受講生とのルール			
○授業に出席するだけでなく、積極的に参加することにより、社会人として必要なスキルを得ることができる。 ○各自、興味のある内容について関心を持つこと。				○無断欠席は不可である。 ○毎回各自発表をしてもらうため、資料を作成してくること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	70	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・斬新かつ有益な知見をもたらすテーマを設定できる。 ・研究方法は適切であり、明快な記述ができる。 ・結果は明快に示し、かつ考察が根拠をもってできる。 ・論文の体裁が整っており、まとめることができる。 <p>上記4点ができた場合をAとし、さらに下記1点が出来た場合をSとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドはシンプルであり、相手に伝わるような内容で構成されており、相手に伝わるように配慮して発表し、質疑応答に対し、適切に応えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・斬新かつ有益な知見をもたらすテーマを設定できる。 ・研究方法は適切であり、明快な記述ができる。 ・結果は明快に示し、かつ考察が根拠をもってできる。 ・論文の体裁が整っており、まとめることができる。 <p>上記のうち、3点ができていた場合をBとする。 上記のうち、2点ができていた場合をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	○オリエンテーション ○文献検索方法について学ぶ ○各自の興味・関心のある事象に関する文献を検索し、レビューする	演習	文献を調べ、資料を作成し、議論することができる。	(予習) 各自の興味・関心のある事象に関する文献を読み、資料を作成する。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、次回の資料作りの構想を考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	○研究テーマの決定 ○研究計画書の作成 ○研究目的および研究方法について検討する	演習	文献を検索し、各自の研究テーマを設定することができる。さらに、研究計画書を作成し、議論することができる。	(予習) 研究テーマに関する文献を読み、研究計画書を作成する。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、次回の資料作りの構想を考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	○予備調査 ○研究目的および研究方法の再検討	演習	予備調査を実施し、調査結果をもとに資料を作成し、議論することができる。	(予習) 予備調査の段取りを検討し、調査計画書を作成する。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、次回の資料作りの構想を考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	○調査実施 ○データ入力 ○データ分析 ○調査結果の検討	演習	調査結果を分析し、結果に対する考察を考え、議論することができる。	(予習) 調査した内容を入力し、結果をまとめ、資料を作成する。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、分析内容を再検討する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	○論文デザイン ○論文の作成	演習	結果および考察をもとに論文デザインを行い、議論することができる。	(予習) 分析したデータをもとに考察を検討し、論文デザインを作成する。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、論文デザインを再検討する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	○論文の作成 ○論文概要の作成 ○発表スライドの作成 および発表練習	演習	論文デザインを決定し、論理の通った文章および図表を作成、論文を執筆することができる。	(予習) 論文デザインをもとに執筆する。発表スライドを作成し、発表練習を行う。 (復習) 他者からもらったアドバイスを整理し、論文およびスライドを再検討する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148B	卒業研究(加藤万也)	加藤万也		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
4年間での学びの集大成として、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために(DP②)、衣食住、子育てなどに関する実践的・体験的な研究活動を通して、研究結果をわかりやすく発表する知識と技能を身に付ける(DP③)。テーマとして、主に「美術・芸術・美術教育」および「文化全般」について、世界を俯瞰的に眺める能力を発揮して、自身の主題に沿った研究を遂行する。加えて、研究成果の発表を行う。							
学修内容				到達目標			
① 自身が研究するテーマを確定し、目的設定をする ② 先行研究および用語の定義を調査する ③ 研究方法を検討し、研究の構成を考える ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成する ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表する				① 自身が研究するテーマを確定し、目的設定ができる ② 先行研究および用語の定義を調査することで、知識の獲得ができる ③ 獲得した知識を活用して研究方法を検討し、研究構成を構築することができる ④ 執筆において生まれる課題を抽出し、その課題を解決するための考察をまとめ、論文を完成させることができる ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	研究遂行のために、必要な事項の調査や資料収集を行うことができる。					
考え抜く力	課題発見力	研究テーマを調査するにあたり、重要になる課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。					
チームで働く力	発信力	研究調査した内容を的確な文章で表現できる。					
	傾聴力	他者の意見を受け入れるながら、自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しません。 参考文献：卒業研究のテーマにあわせて参考文献を紹介します。							
他科目との関連、資格との関連							
卒業研究は、これまで学んできた集大成として位置付けられており、全科目と関連する卒業必修科目である。また、資格取得には関連しない。							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・前期は、週1回のゼミナールを行います。 ・後期は、個別指導の形式とします。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナールの無断欠席は認めない。 ・研究調査をレジュメにまとめ毎回持参すること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	論文及び発表から以下の点を評価します。 ・論文では「テーマに沿った目的」を明確にした上で、目的に適した「方法」を選択し、読み手にわかりやすく執筆することができる。 ・発表では研究内容を聞き手に向かって、わかりやすく伝えることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> 到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。 <small>（実行力）</small> 研究遂行のために、必要な事項の調査や資料収集を行うことができる。 <small>（課題発見力）</small> 研究テーマを調査するにあたり、重要になる課題を見極めることができる。 <small>（創造力）</small> 固定概念に捉われないこと、多角的・多面的に考えることができる。 <small>（発信力）</small> 研究調査した内容を的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 他者の意見を受け入れるながら、自分の意見を述べることができる。 <small>（規律性）</small> 円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを遵守することができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・「テーマに沿った目的」を明確にした上で、目的に適した「方法」を選択し、読み手にわかりやすい論文を執筆することができた。</p> <p>・発表では研究内容を聞き手に向かって、わかりやすく伝えることができた。</p> <p>※上記2点に沿った形で成果を出せた学生にはレベルA(優)評価を与え、研究内容の斬新さや表現の独特さがある場合にはレベルS(秀)評価とする。</p>	<p>・指定された期限までに提出物（テーマ、発表要旨、論文等）を提出することができた。</p> <p>・論文では「目的」を明確にした上で、論文を書きあげることができた。</p> <p>・発表では指定時間内に研究内容を伝えることができた。</p> <p>※上記において成果を出した学生にはレベルB(良)評価で、それよりも低い場合はレベルC(可)評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	研究テーマを確定するためのプレ調査研究 自分の研究したいことをインターネットを用いて収集する	ゼミナール	研究テーマを確定するためのプレ研究のレジュメを作成できる	(予習) プレ研究のレジュメを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジュメのための資料を作成する	180	主体性 実行力 計画力 発信力 規律性
6-10	先行研究及び用語の定義を調査する 自分の研究したいことをインターネットを用いて収集する	ゼミナール	用語の定義を調査し、一覧表にまとめることができる	(予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる	180	主体性 実行力 計画力 発信力 規律性
11-15	研究方法を検討し、研究の構成を考える 自分の研究したいことをインターネットを用いて収集する	ゼミナール	研究の進め方を理解し、論文構成を考慮することができる	(予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性
16-25	結果及び考察をまとめ、論文を作成する 自分の研究したいことをインターネットを用いて収集する	個人指導	論旨の一貫性を遵守し、伝えたい研究内容を執筆できる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性
26-30	卒研発表会で発表する資料を作成し、発表する	個人指導	論文内容を簡潔に整理し、発表資料を作成できる 卒研発表会で発表できる	(予習) 発表資料を作成する (復習) 発表のための事前練習をする	180	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148C	卒業研究(小倉弘之)	小倉弘之		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
4年間の学びの集大成として、DP1・2を踏まえ自ら興味を持ったテーマに主体的に関り、学術的な根拠を基に探求、調査を推し進め最終的に研究論文にまとめる。計画、実行、課題発見、解決を繰り返しながら論文執筆、プレゼンテーションを行う能力を養う。テーマは主に、英語教育に関するもの、及び小学校教育（主に学習指導・教師教育）に関するものを取り扱う。							
学修内容				到達目標			
① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにする。 ② 研究課題から研究目的を明らかにする。 ③ 研究目的にそって研究計画を立案する。 ④ 研究計画に基づいて調べたり、実践したりする。 ⑤ 論文・スライドを作成し発表を行う。				① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにすることができる。 ② 研究課題から研究目的を明らかにすることができる。 ③ 研究目的にそって研究計画を立案することができる。 ④ 研究計画に基づいて調べたり、実践したりできる。 ⑤ 論文・スライドを作成し発表を行うことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標達成に向けて、指示がなくても課題を自ら見つけ取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	目標達成のため、手順や方法を考え実行することができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	調査結果や収集データを、先入観や常識に囚われずグローバルな視点で検討、解釈することができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現したり、グループ討議、発表の際に、自らの意見を整理して伝えることができる。					
	傾聴力	聞き取り調査、グループ討議、発表等の際に、情報や他の人の意見に主体的に耳を傾けることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	計画に基づき、期限厳守で目標達成に向け行動することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
必要に応じて参考文献を紹介します。							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は卒業必修科目であり、それまでに学んだ全ての科目をもとに大学での学びの集大成となる科目です。							
学修上の助言				受講生とのルール			
4年間の学修の集大成として研究論文を作成するために他の授業、就職活動と並行して努力すること。				期限厳守です。担当教員への報告、連絡、相談を怠らず、計画的に取り組むこと			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
		レポート		20	①	✓				研究の動機、先行研究、調査方法など、期限までにレポートとして提出。
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓			論文及び発表から以下の点を評価します。 ・論文では「テーマに沿った目的」を明確にした上で、目的に適した「方法」を選択し、読み手にわかりやすく執筆することができる。 ・発表では研究内容を聞き手に向かって、わかりやすく伝えることができる。			
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：自ら主体性をもって学び続けることができる 実行力：課題達成のための方法を考え行動できる 課題発見力：様々な視点から課題をとらえることができる 創造力：様々な方向から物事を捉え考えることができる 発信力：意見を述べたり、発表したりできる 傾聴力：話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができてい 規律性：研究計画に基づき、提出期限やルールを守ることができる			
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A(優)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された期限までに提出物を提出することができた。 論文では「目的」を明確にしたうえで、目的に適した「方法」を選択し、「結果、考察、まとめ」を読み手にわかりやすく書くことができた。 発表では指定時間内に聞き手にわかりやすく伝えることができた。 <p>S(秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記3点に加え、研究内容に独自性があり、学生の前で工夫しながら発表できた場合にS(秀)評価とする。 	<p>B(良)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された期限までに提出物を提出することができた。 論文では「目的」を明確にした上で、「方法、結果、考察、まとめ」を書くことができた。 発表では指定時間内に研究内容を伝えることができた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の見通しを立てる。 ・図書館において、文献検索方法について学ぶ。 ・過去のテーマを検索する。 ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する。 	討議 調査	自らの研究課題を明確にすることができる。	(予習) 研究テーマを検討する。 (復習) 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3-5	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館において、文献検索方法について学ぶ。 ・過去のテーマを検索する。 ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する。 	討議 個別指導 調査	先行研究を読み込み、研究課題の方向性を確定できる。	(予習) 先行研究を読む。 (復習) 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-8	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマの決定と研究計画書の作成を行う。 ・研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う。 	討議 個別指導	討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる。	(予習) 研究計画を立てる。 (復習) 研究課題を明確にし研究目的、方法、内容について計画を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
9-10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマの決定と研究計画書の作成を行う。 ・調査研究を行うフィールドを調整する。 ・基になる文献の分析方法を考える。 	個別指導 実地調査	研究の計画書を作成し、調査研究を行うフィールドを調整することができる。 研究の基となる文献の分析方法が理解できる。	(予習) 研究計画を立てる。 (復習) 研究課題を明確にし研究目的、方法、内容について計画を行う。 (予習) 調査の準備をする (復習) 研究方法を検討し、調査を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-13	<ul style="list-style-type: none"> ・研究方法の検討 ・アンケートの方法で取り組む場合は項目の検討、取材の方法で取り組む場合には相手方との折衝を行う。 ・基になる文献を確定する。 	討議 個別指導	討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考えることができる。 アンケートの方法で取り組む場合は項目の検討、取材の方法で取り組む場合には相手方との折衝を行うことができる。 基になる文献の分析を進めることができる	(予習) 調査の準備をする。 (復習) 研究方法を検討し、調査を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14-15	<ul style="list-style-type: none"> ・研究方針の基づいて実地調査を行う。 ・記録の分析方法を知る。 	個別指導	実地調査記録の分析方法が理解できる。	(予習) 調査の準備をする。 (復習) 記録の分析を進める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計及び、取材のまとめをする。 ・基になる作品の文章分析をする。 ・論文執筆要領を理解する。 ・論文執筆を進める。 	個別指導 講義	調査結果のまとめ及び、文章分析の方法を理解し、執筆内容の把握ができる。 目次を立て、各章における執筆内容を把握することができる。 論文を書き進めることができる。	(予習) 調査結果をグラフにし、考察を進め、論文執筆をする。 (復習) グラフの考察から文章分析を箇条書きにし、論文執筆要綱に則り、論文を作成する。	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の作成、抄録の作成 ・文章の推敲 	個別指導	文章を推敲しながら、論文執筆を進めることができる。	(予習) 論文執筆する。 (復習) 論文執筆要綱に則り、論文を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
26-29	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の仕上げ、抄録の作成 発表のためのパワーポイント作成 発表原稿の作成 	個別指導	<p>文章を推敲しながら、論文執筆を進めることができる。文章を推敲しながら、論文執筆を進めることができ、発表のための論文要旨がまとめられる論文の内容を発表時間に合わせて話すための筋書きができる。見やすいパワーポイントができ、所定の時間内に発表ができるよう練習することができる</p>	<p>(予習) 論文執筆し、発表のためのパワーポイントを作成する。 (復習) 論文執筆要綱に則り、論文を作成し、時間内に発表する練習をする。</p>	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
30	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究提出の準備をし、研究発表の練習をする。 	討議 個別指導	<p>見やすいパワーポイントができ、所定の時間内に発表ができるよう練習することができる。</p>	<p>(予習) 時間内に発表する練習をする。 (復習) 論文を見直し提出する。</p>	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148D	卒業研究(田村佳世)	田村佳世		専門	4	必修	4前期・後期

科目の概要

DP①、②、③に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。大学の教育目標・教育方針の下に、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために、自身が研究するテーマを確定し、目的設定をします。そして、先行研究および用語の定義を調査し、研究方法を検討し、研究の構成を考えていきます。文献研究、質問紙調査等を行い、結果及び考察をまとめ、論文を執筆します。完成した論文を基に、研究内容を学内の卒業研究発表会で発表します。

学修内容	到達目標
① 自身が研究するテーマを確定し、目的設定をする ② 先行研究および用語の定義を調査する ③ 研究方法を検討し、研究の構成を考える ④ 考察をまとめ、論文を執筆する ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表する	① 自身が研究するテーマを確定し、目的設定ができる ② 先行研究および用語の定義が調査できる ③ 研究方法を検討し、研究構成を構築できる ④ 考察をまとめ、論文として執筆することができる ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	研究課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	研究内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。
	計画力	
	創造力	研究において修得した知識および技能をもとに、将来保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。
チームで働く力	発信力	研究の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことを論文に(図表含む)することができ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。
	傾聴力	ゼミメンバーで意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	ゼミルール(研究態度、期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

卒業研究のテーマにあわせて参考文献を紹介します。

他科目との関連、資格との関連

卒業研究(330743148D)は、既修全ての科目で修得した知識、実践力を基としディプロマポリシーの修得に結び付く集大成の科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・前期は、週1回のゼミナールを行います。 ・後期は、主に個別指導の形式とします。	・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
レポート	0	①			
		②			
		③			
		④			
		⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	①自身が研究するテーマを確定し、目的設定ができる。 ②先行研究および用語の定義が調査できる。 ③研究方法を検討し、研究構成を構築できる。 ④考察をまとめ、論文として執筆することができる。 ⑤研究内容を学内の発表会で発表することができる。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> 研究課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。 <small>（実行力）</small> 履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。 <small>（課題発見力）</small> 研究内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。 <small>（創造力）</small> 研究において修得した知識および技能をもとに、将来保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。 <small>（発信力）</small> 研究の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことを論文に記述（図表含む）することができる。相手の目線に合わせ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。 <small>（傾聴力）</small> ゼミメンバーで意見交換をし、意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 <small>（規律性）</small> ゼミルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
(S) ①自身が研究するテーマを意欲的に明確に確定し、計画的に目的設定ができる。 ②先行研究および用語の定義を広く確実に調査できる。 ③研究方法を広く検討し、研究構成を正確に構築できる。 ④考察を客観的根拠に基づいてわかりやすくまとめ、計画に沿って論文として執筆することができる。 ⑤研究内容を学内の発表会で分かりやすく学術的に発表することができる。	(B) ①自身が研究するテーマを確定し、計画的に目的設定ができる。 ②先行研究および用語の定義を自主的に調査できる。 ③研究方法を検討し、研究構成を計画的に構築できる。 ④考察をまとめ、計画に沿って論文として執筆することができる。 ⑤研究内容を学内の発表会で自分なりに発表することができる。
(A) ①自身が研究するテーマを明確に確定し、計画的に目的設定ができる。 ②先行研究および用語の定義を広く調査できる。 ③研究方法を検討し、研究構成を正確に構築できる。 ④考察をわかりやすくまとめ、計画に沿って論文として執筆することができる。 ⑤研究内容を学内の発表会でわかりやすく発表することができる。	(C) ①自身が研究するテーマを確定し、目的設定ができる。 ②先行研究および用語の定義が調査できる。 ③研究方法を検討し、研究構成を構築できる。 ④考察をまとめ、論文として執筆することができる。 ⑤研究内容を学内の発表会で発表することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	研究テーマを確定するためのプレ調査研究	ゼミナール google classroomにて フィードバック	研究テーマを確定するためのプレ研究のレジュメを作成できる	(予習) プレ研究のレジュメを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジュメのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	先行研究及び用語の定義を調査する	ゼミナール	用語の定義を調査し、一覧表にまとめることができる	(予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	研究方法を検討し、研究の構成を考える	ゼミナール google classroomにて フィードバック	研究の進め方を理解し、論文構成を考えることができる	(予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-25	結果及び考察をまとめ、論文を作成する	個人指導 google classroomにて フィードバック	論旨の一貫性を遵守し、伝えたい研究内容を執筆できる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	卒研発表会で発表する資料を作成し、発表する。	個人指導 ゼミナール google classroomにて フィードバック	論文内容を簡潔に整理し、発表資料を作成できる 卒研発表会で発表できる	(予習) 発表資料を作成する (復習) 発表のための事前練習をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148E	卒業研究 (松橋) Graduation Research	松橋俊輔		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
本科目では、各自が研究テーマを設定し、文献研究によって卒業論文を執筆する。担当者の専門領域は教育思想史・教育哲学だが、教育に関わるテーマの文献研究であれば、倫理学、歴史学、社会学、政治学、宗教学等の知見を取り扱うことも考えられる。本科目は、4年間の学びの集大成としてDP 1～3のすべてに関連している。							
学修内容				到達目標			
① 研究テーマを主体的に設定し、研究課題を発見する。 ② 研究テーマを具体化するために必要な資料や文献を調査する。 ③ 研究課題を明らかにするための研究調査を行う。 ④ 研究成果を卒業論文としてまとめる。 ⑤ 卒業論文の概要をプレゼンテーションする。				① 研究テーマを卒業論文の題目として示すとともに、研究課題を明示することができる。 ② 研究テーマとその課題に関わる先行研究を整理し、適切な形でまとめることができる。 ③ 研究を遂行して課題に対して自分なりの解答を発見することができる。 ④ 論文としてふさわしい形式を備えた論文を完成させることができる。 ⑤ 卒業論文の概要を分かりやすく口頭発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分自身の関心に沿ってテーマと課題を発見し、進んで研究を進める。					
	働きかけ力						
	実行力	積極的に文献を収集し、恐れることなく原稿の執筆を進める。					
考え抜く力	課題発見力	自らが学び気づいたことを学士論文にまとめるために必要な要素を考え見出す。					
	計画力						
	創造力	卒業論文の問いと答えの構造や論の展開をねばり強く構想する。					
チームで働く力	発信力	論旨や展開の明確な文章を書き、明快な発表をする。					
	傾聴力	文献の語りかけるものに虚心に耳を傾けるとともに、他のゼミ生の研究に関心を持って学び質問や意見で貢献しようとする。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	研究作業を後回しにすることなく、余裕をもって計画的に取り組む。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
適宜、指示・配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
本学部・学科における学びのすべてを締めくくるための科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
自分自身の感性や関心を大切にしつつ、同時に、論文としてまとめるためにそれを客観的に捉えようとする視点を持つことが重要です。また、その都度、研究遂行上の課題を明確に捉え直しつつ進みましょう。				卒業論文を書くことは、思考と言葉の訓練としても、情報と時間のマネジメントの訓練としても、自分自身を客観的に理解するための契機としても、非常に優れています。この機会を受講生みなさんが活かすことができるよう、互いに暖かく耳を傾け合って支え合い、安心して研究と向き合うことのゼミにしましょう。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		70	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS 研究のテーマ・課題が明示されたうえで、先行研究を明快に整理し、説得的な解答を明確に示している。それに際して、学術論文としての体裁が守られ、主張の合理的な根拠が示されており、論理展開に問題がない。また、論文の概要を他の受講生に伝わるように発表できている。</p> <p>到達レベルA 研究のテーマ・課題が明示されたうえで、先行研究を整理し、解答を明確に示している。それに際して、学術論文としての体裁が守られ、主張の根拠が示されており、論理展開におおよそ問題がない。また、論文の概要を他の受講生に伝わるように発表できている。</p>	<p>到達レベルB 研究のテーマ・課題を示したうえで、先行研究と関係づけながら、解答を示している。それに際して、学術論文としての体裁がおおよそ守られ、主張を根拠づけようとする努力がみられる。また、論文の概要を簡潔にまとめて発表できている。</p> <p>到達レベルC 研究のテーマ・課題を示したうえで、先行研究に触れながら、解答を示そうとしている。それに際して、学術論文としての体裁がおおよそ守られ、主張を根拠づけようとする努力がみられる。また、論文の内容を発表できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	テーマの決定 —ガイダンス —ブレインストーミング —文献調査 —テーマの決定と研究課題草案の提出	演習 ICTを活用した調査	自らの関心に沿ってテーマを設定し、研究課題の候補を挙げる事ができている。	(予習)・(復習) 関連文献を調査し研究テーマ及び研究課題を案出する。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	先行研究調査 —先行研究の調査と発表 —研究課題案の発表	演習 ICTを活用した調査	先行研究の調査をふまえて研究課題の案を発表できている。	(予習)・(復習) 先行研究を調査して発表準備をし、研究課題を案出する。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	研究課題の決定とアウトラインの作成 —アウトラインの作成・発表 —研究課題の決定 —論文のルールの確認	演習	アウトラインの草案を作成し研究課題を決定できている。	(予習) アウトラインを作成して研究課題を決定する。 (復習) 論文のルールを確認しながら、本体部分の執筆を始める。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	本論の執筆 —論文本体部分の執筆 —中間発表 —フィードバックを踏まえた執筆の継続	演習 個人指導	論文の本体部分を半分以上執筆できている。	(予習)・(復習) 論文本体部分を執筆し、中間発表へのフィードバックを踏まえて加筆・訂正する。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	論文の完成 —序論・結論の執筆 —論文の体裁の確認	演習 個別指導	論文を完成させることができている。	(予習)・(復習) 序論・結論部分を執筆し、論文としての体裁を整えながら全体を推敲して完成させる。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	研究発表 —発表資料を作成する —研究内容を発表する	演習	研究内容を発表することができている。	(予習) 発表資料を作成する。 (復習) 必要に応じて論文を加筆修正・推敲する。	900	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148F	卒業研究(黒谷万美子)	黒谷万美子		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
この科目はDP2. 3に記載されている子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。4年間での学びの集大成として主体的に課題を選択し、研究過程を通して、科学的アプローチを学ぶことを目的とする。テーマとしては、保健・公衆衛生に関するものを主とする。研究課題を明らかにしたうえで、研究目的、研究計画を立案し、データ集計・分析を行う。							
学修内容				到達目標			
① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにする ② 研究課題から研究目的を明らかにする ③ 研究目的にそって研究計画を立案する ④ 研究計画に基づき調査しデータ集計・分析を行う ⑤ 論文・抄録を作成し発表を行う				① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにすることができる ② 研究課題から研究目的を明らかにすることができる ③ 研究目的にそって研究計画を立案することができる ④ 研究計画に基づき調査しデータ集計・分析・考察を行うことができる ⑤ 論文・抄録を作成しその中で課題の解決作を提案・考察し発表を行うことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標達成に向けて、指示がなくても課題を自ら見つけ取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	課題達成のための手順や方法を考え発表等、行動をすることができる					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる					
	計画力						
	創造力	物事を考える際に、様々な方向から考えることができる					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現し、分かりやすく発表するとともに対象を理解して伝えることができる					
	傾聴力	グループ調査や発表時、内容確認や質問を行い、正確に理解するとともに話しやすい状況を作ることができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	計画に基づき抄録・論文提出等の期限やルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
適宜、プリントを配布する							
他科目との関連、資格との関連							
他教科との関連:「卒業研究」は学科専門科目として設定されており、履修した全科目で獲得した知識・技術を活用する。 関連する資格:なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
4年間の修学の集大成として研究論文を作成するために他の授業、就職活動と並行して努力すること。研究することの喜びや楽しさを感じてもらいたい。				主体的に担当教員と連絡、相談を繰り返しながら、計画的に取り組むこと			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
平常評価	レポート	0	①						
			②						
			③						
			④						
			⑤						
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				研究発表の際に効果的な媒体を作為し、相手に分かりやすく伝える。また限られた時間を有効に使い、質問に的確に答えることが求められる。1年間の研究結果として研究目的に沿った内容、結果、考察になっていることが必要である。統計分析が誤りなく結果に反映されているか、先行研究論文からの考察が不可欠である。	
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				主体性：自ら主体性をもって学び続けることができる 実行力：課題達成のための方法を考え行動できる 課題発見力：様々な視点から課題をとらえることができる 創造力：様々な方向から物事を捉え考えることができる 発信力：意見を述べたり、発表したりできる 傾聴力：話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができてい 規律性：研究計画に基づき、提出期限やルールを守ることができる	
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにすることができる ② 研究課題から研究目的を明らかにすることができる ③ 研究目的にそって研究計画を立案することができる ④ 研究計画に基づき自ら調査しデータ集計・分析を十分にすることができる ⑤ 課題解決できる論文・抄録を作成し発表を行うことができる 総合評価80点以上90点未満の者。A以上の能力を有しているもの（総合評価90点以上）をSとする	① 解決すべき問題や現状、研究課題を明らかにすることができる ② 研究課題から研究目的を明らかにすることができる ③ 研究目的にそって研究計画を立案することができる ④ 研究計画に基づき調査しデータ集計・分析を行うことができる ⑤ 論文・抄録を作成し発表を行うことができる 総合評価70点以上80点未満の者。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する 	文献検索オリエンテーション実施 ディスカッション	ディスカッションを行い、自らの研究課題を明らかにすることができる	予習:研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題(テーマ)の決定と研究計画書の作成 ・研究課題を明らかにし研究目的、方法、内容について計画を行う 	ディスカッション 課題提出(google classroomを利用したフィードバック)	ディスカッションを行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる	予習:研究課題を明らかにし研究目的、方法、内容について計画を行う90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	<ul style="list-style-type: none"> ・研究方法の検討 ・アンケート調査表作成 ・倫理審査に必要な書類の準備、審査 ・アンケート調査実施 	ディスカッション	ディスカッションを行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査表作成、実施、倫理審査準備ができる	予習:信頼性と妥当性のあるアンケート調査表を調べる。アンケート調査表を作成する。倫理審査の資料準備を行う90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	<ul style="list-style-type: none"> ・データ入力・集計・分析 ・現地調査及び介入 	ディスカッション	ディスカッションを行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための現地調査及び介入を行うことができる	予習:データ入力・集計・分析を行う。現地調査及び介入を行う90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の作成、抄録の作成 	ディスカッション	ディスカッションを行いながら卒業論文、抄録を作成することができる	予習:データ集計後の図表を作成し、卒業論文、抄録をまとめる90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の作成、抄録の作成 	ディスカッション	ディスカッションを行いながら卒業論文、抄録を作成することができる	予習:データ集計後の図表を作成し、卒業論文、抄録をまとめる90分 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148G	卒業研究(渡辺ユリナ) Graduation Research	渡辺ユリナ		専門	4	必修	4前期・後期

科目の概要

DP1.2.3を受け、4年間での学びの集大成として、保育の学校教育の面から支援することができる人材を育成するために、幼児教育、小学校教育、幼保小連携などに関する実践的・体験的な研究活動を通して、研究結果をわかりやすく発表する知識と技能を身に付ける。テーマとして、主に「音環境」「領域表現(音楽)」および「音楽科教育」について、これまで学習してきたことを生かして、自身の主題に沿った研究を遂行する。加えて、研究成果の発表を行う。

学修内容	到達目標
① 資料や文献の検索方法を学び、内容を整理し、まとめることができる ② 自身が研究するテーマを確定し、目的設定をする ③ 研究方法を検討し、研究の構成を考える ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成する ⑤ 研究内容を学会の発表会で発表する	① 資料や文献の検索方法を学び、内容を整理し、まとめることができる ② 自身が研究するテーマを確定し、目的設定をすることができる ③ 研究方法を検討し、研究の構成をすることができる ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成することができる ⑤ 研究内容を学会の発表会で発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題達成のための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	研究を行うにあたり、自身の体験だけでなく、先行研究から重要となる課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなく、多角的・多面的に考えることができる。
チームで働く力	発信力	研究調査した内容を的確な文章で表現できる。
	傾聴力	他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解し、自分の研究に生かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。
参考文献：卒業研究のテーマにあわせて参考文献を紹介する。

他科目との関連、資格との関連

「卒業研究」は、学部共通科目や学科共通科目、学科専門科目のすべての集大成となる科目である。資格としては、小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格に関連する。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 週1, 2回のゼミおよび適宜個人指導を行う。 自身で調べ、課題に取り組んだ成果を、毎回のゼミで共有する。他者と議論を交わす中で互いの研究を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 無断欠席・遅刻はしない。 研究調査を毎回持参すること。 責任を持って自主的に取り組むこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30	①		✓	卒業論文について、以下の点を評価する。 ・「問題の所在と目的」を明確にできること。 ・目的に適した「研究方法」を選択できること。 ・「結果」をもとに、根拠をもって「考察」できること。 ・読み手にわかりやすく執筆できること。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①		発表について、以下の点を評価する。 ・研究内容が聞き手に伝わるように、効果的なプレゼンを作成できること。 ・研究内容が聞き手に伝わるように、配慮して話せること。			
			②					
			③					
			④					
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。 実行力：課題達成のための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。 課題発見力：研究を行うにあたり、自身の体験だけでなく、先行研究から重要となる課題を見極めることができる。 創造力：固定概念に捉われないこと、多角的・多面的に考えることができる。 発信力：研究調査した内容を的確な文章で表現できる。 傾聴力：他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解し、自分の研究に生かすことができる。 規律性：円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを厳守することができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①「問題の所在と目的」を明確にできること。 ②目的に適した「研究方法」を選択できること。 ③「結果」をもとに、根拠をもって「考察」できること。 ④読み手にわかりやすく執筆できること。 上記①～④ができていた場合をAとする。 さらに、 ⑤研究内容が聞き手に伝わるように工夫し、わかりやすく発表できること。 ができた場合をSとする。	①「問題の所在と目的」を明確にできること。 ②目的に適した「研究方法」を選択できること。 ③「結果」をもとに、根拠をもって「考察」できること。 ④読み手にわかりやすく執筆できること。 上記のうち3点ができていた場合をBとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	・オリエンテーション ・文献検索方法について学ぶ ・音環境、表現(音楽)、音楽科教育に関する先行文献を検索し、レビューする	ディスカッション 個人指導	・文献を調べ、資料を作成し、議論することができる	(予習) 各自の興味・関心に合った文献を読み、レビューを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、レビューの作成に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	・研究テーマを決定する ・研究目的および研究方法について検討する ・研究計画書を作成する	ディスカッション 個人指導	・文献を検索し、各自の研究テーマを設定することができる ・研究計画書を作成し、議論することができる	(予習) 研究テーマに関する文献を読み、研究計画書を作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、研究計画書の作成に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	・研究目的および研究方法を再検討する ・調査を実施する	ディスカッション 個人指導	・論文構成を考えることができる ・計画的に調査を実施することができる	(予習) 調査の段取りを計画し、調査計画書を作成する (復習) ゼミのメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、調査計画書の作成や調査の実施に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	・データを入力する ・データを分析する ・調査結果を検討する	ディスカッション 個人指導	・データを入力することが出来る ・データを分析することができる ・結果に対する考察を考え議論することができる	(予習) 調査した内容を入力し、結果をまとめ、資料を作成する (復習) ゼミのメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、結果の考察に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	・研究論文の内容を再検討する ・研究論文を作成する	ディスカッション 個人指導	・論旨の一貫性を遵守し、伝えたい研究内容を執筆できる	(予習) 資料を駆使して研究論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、研究論文の執筆に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	・卒研発表会で発表する資料を作成し、発表する	ディスカッション 個人指導	・論文内容を簡潔に整理し、発表資料を作成できる ・卒研発表会で発表できる	(予習) 発表資料を作成し、発表のための事前練習をする (復習) ゼミのメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、研究論文およびスライドの作成に努める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148H	卒業研究(長拓実) Graduation Research	長拓実		専門	4	必修	4前期・後期

科目の概要

本科目はディプロマポリシーDP②にある、人々の日常生活を衣の面から提案し支援できるようになるための科目として位置付けられる。家庭科教育に関連する内容や布を用いた被服製作のものづくり教育の意義に関する研究を行う。

学修内容	到達目標
① 研究テーマを選定し、目的を設定する ② 先行研究及び用語の定義を調査する ③ 研究方法を検討し、実験又は調査を行う ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成する ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表する	① 研究テーマを選定し、目的を設定できる ② 先行研究及び用語の定義が調査できる ③ 実行可能な研究方法を検討し、実験又は調査を行うことができる ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成することができる ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力	他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻など研究に支障をきたす行動をせず、円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しません。
参考文献：卒業研究のテーマにあわせて参考文献を紹介することがあります。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「卒業研究」は専門科目の卒研に配置されており、全ての科目で獲得した知識・技術を活用する。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> スケジュール管理は自分でしましょう。 卒業研究用のノートを準備すると便利です。 	<ul style="list-style-type: none"> やむを得ず欠席する場合は事前に連絡をしてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	論文及び発表から以下の点を評価します。 ・指定された期限までに提出物（テーマ、発表要旨、論文等）を提出することができること。 ・論文では「目的」を明確にした上で、目的に適した「方法」を選択し、「結果、考察、まとめ」を読み手にわかりやすく書くことができること。 ・発表では指定時間内に研究内容を聞き手にわかりやすく伝えることができること。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力）他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）無断欠席、遅刻など研究に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・指定された期限までに提出物（テーマ、発表要旨、論文等）を提出することができる。</p> <p>・論文では「目的」を明確にしたうえで、目的に適した「方法」を選択し、「結果、考察、まとめ」を読み手にわかりやすく書くことができる。</p> <p>・発表では指定時間内に研究内容を聞き手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>上記3点に到達した場合A（優）とする。さらに下記の1点ができた場合をS（秀）評価とする。</p> <p>・スライドはシンプルであり、相手に伝わるような内容で構成されており、相手に伝わるように配慮して発表し、質疑応答に対し、適切に応えることができる。</p>	<p>・指定された期限までに提出物（テーマ、発表要旨、論文等）を提出することができる。</p> <p>・論文では「目的」を明確にした上で、「方法、結果、考察、まとめ」を書くことができる。</p> <p>・発表では指定時間内に研究内容を伝えることができる。</p> <p>上記のうち、3点ができていた場合をBとする。 上記のうち、2点ができていた場合をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	1 研究テーマの選定と目的の設定 研究テーマを選定し、目的を設定する	個人指導又は集団討議	研究テーマを選定することができる 目的を設定することができる	(予習) 研究テーマの候補を考える (復習) 研究テーマから目的を絞る	120	主体性 実行力 発信力 規律性
6-10	2 先行研究及び用語の定義の調査 先行研究及び用語の定義を調査する	個人指導又は集団討議	目的に関連する先行研究を調査することができる 用語の定義を調査することができる 一覧表にまとめることができる	(予習) 目的に関連する先行研究を調査する 目的に関連する用語の定義を調査する	120	主体性 実行力 発信力 規律性
11-20	3 研究方法の検討と実験又は調査 研究方法を検討し、実験又は調査を行う	個人指導又は集団討議	適切な研究方法を検討し、実験又は調査を実行できる	(予習) 研究方法を検討する (復習) 実験又は調査を行う	120	主体性 実行力 発信力 規律性
12-25	4 結果及び考察のまとめと論文の作成 結果及び考察をまとめ、論文を作成する	個人指導又は集団討議	結果を集計・解析し、考察をまとめる 指定された様式に則り、論文を作成する	(予習) 論文執筆要綱を確認する (復習) 結果を集計し、解析をする 論文執筆要綱に則り、論文を作成する	120	主体性 実行力 発信力 規律性
26-30	5 研究内容の発表 研究内容を学内の発表会で発表する	個人指導又は集団討議	研究内容をまとめた発表要旨、資料、発表原稿を作成する 発表会で研究内容を発表する	(予習) 発表要旨、資料、発表原稿を作成する (復習) 質疑応答の内容に応じて論文を修正する	120	主体性 実行力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148I	卒業研究(高田) Graduation Research	高田由基		専門	4	必修	4前期・後期

科目の概要

DP2・3に記載されている教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自己の可能性を高め社会に貢献しようとする学生の育成を目指す。
 そのために本科目は4年間の学びの集大成として、①自ら研究テーマを設定し、②設定した研究テーマ解明のために必要な文献や先行研究を主体的に収集し、③研究仮説検証のための調査研究活動の結果を検討し考察を加え、④論理的な思考力を働かせながら卒業論文を完成させていく。
 テーマは主に体育・健康あるいは、学校教育に関するものとする。それらの現状や課題を明確にしたうえで、①～④に従い卒業論文を完成させ、研究成果の発表を行う。

学修内容	到達目標
① 体育・健康、学校教育に関する現状と課題を課題を明確にし、研究テーマを設定する。 ② 研究テーマに関する文献や先行研究を収集する。 ③ 研究方法を検討し、調査研究活動を行う。 ④ 研究結果とその考察を行い、論文を作成する。 ⑤ 研究内容や結果を学内の卒論発表会で発表する。	① 体育・健康、学校教育に関する現状と課題を課題を明確にし、研究テーマを設定することができる。 ② 研究テーマに関する文献や先行研究をCini等の情報検索システムや図書館の蔵書等を活用し収集することができる。 ③ 予備調査によって抽出された課題を、これまでの知識や情報等を活用して再検討し、本調査研究活動を行うことができる。 ④ 研究結果とその考察を行い、論文を作成させることができる。 ⑤ 研究内容や結果を学内の卒論発表会で発表することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自ら研究テーマを設定し、研究に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	研究遂行のために必要な文献や先行研究を収集することができる。
考え抜く力	課題発見力	研究テーマに関する現状を把握し、課題を明確にすることができる。
	計画力	
	創造力	上記で抽出された課題に対し、多面的・多角的に結果を考察し、新たな課題とその解決法を考えることができる。
チームで働く力	発信力	調査研究した内容を的確な文章で表現するとともに、プレゼンテーション技法を用いて発表することができる。
	傾聴力	他者の意見や考えを聴き、様々な見方や考え方があることを理解し、自分の研究に生かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	卒業研究が円滑に進行するように、ゼミ内で決めた規則やルールを遵守できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキストは使用しない。
 参考文献や先行研究を適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

資格との関連：小学校教諭、幼稚園教諭、保育士

4年間の学びの集大成である。これまで学んできたすべての科目と関連をもっているが、こどもの生活学科の卒業研究であることから、子どもの生活に関するもの（「こども生活学」等）や教育学系の科目（「教育方法論」等）、そして教科教育学系の科目（「体育科教育法」「体育科研究」等）を基盤として位置づけられている。

学修上の助言	受講生とのルール
4年間の学びの集大成である。従って、ただ参加しているだけではなく、毎回指定された課題の報告を行うこと。それだけでなく、自ら文献や先行研究を収集するなどして、その内容を発表すること。 主体的で能動的な態度で、授業に臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> ゼミの欠席厳禁。 毎回の課題報告を行うこと。 授業で指示される課題の提出期限を遵守すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		80	①	✓	卒業論文は、以下の点で評価する。 ・研究テーマの解明にあたり、研究目的を明確に示している。 ・研究仮説検証のための方法が有効である。 ・結果が明確に示され、結果をもとに考察が根拠をもって多面的・多角的に行われている。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	卒業論文発表は、以下の点で評価する。 ・プレゼンテーション技法活用し、聴き手に理解しやすい発表である。 ・制限時間を有効に活用した発表である。 ・質疑応答に対し、適切に返答する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）自ら設定した研究テーマの課題解決に主体的に取り組むことができる。 （実行力）卒論を完成させるための手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づき情報を客観的に検討し、課題を見極めることができる。 （計画力）いつまでに何をすべきかの観点で卒論完成までの流れを作成することができる。 （創造力）多面的・多角的な方向から物事を捉えることができる。 （発信力）卒業論文の内容を的確な方法や文章で表現できる。 （傾聴力）他者の意見や考えに耳を傾け、自らの考えを述べることができる。 （柔軟性）多方面から情報収集をしたり、新たな視点で考察を行ったりするなど、柔軟な発想で卒論に取り組むことができる。 （規律性）卒業研究が円滑に進行するように、ゼミ内で決めた規則やルールを遵守できる。 （ストレスコントロール力）運動やスポーツ、自分の趣味をもちストレスをコントロールして卒論に取り組むことができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①体育・健康、学校教育に関する現状や課題を解明するために焦点化した研究テーマ、研究内容、研究方法を具体的に設定できた。 ②研究目的を明確にし、目的に適した方法を選択し、結果を多面的・多角的に考察し、卒論を作成できた。 ③研究内容をプレゼン技法を活用しながら聴き手に分かりやすく、かつ制限時間内に発表できた。 以上に加えて、上記の内容が秀でていたり、学会の学生発表会で発表できた場合はS（秀）とする。	①体育・健康、学校教育に関する現状や課題を解明するために研究テーマ、研究内容、研究方法を設定できた。 ②研究目的を明確にし、目的に適した方法を選択し、結果、考察、まとめの卒論を作成できた。 ③研究内容をプレゼン技法を活用しながら、制限時間内に発表できた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	○オリエンテーション ○文献検索の方法を学ぶ。 ○体育・健康、学校教育の現状や課題の抽出を学ぶ。 ○抽出した課題をもとに、自分の興味・関心のある事象に関する文献や先行研究を検索し、レビューする。	1. 講義：卒業論文の進め方 2. 演習：先行研究、参考文献収集 3. 発表：各自が収集した先行研究と卒論計画の発表	・文献検索の仕方ができる。 ・ゼミでの討議に参加し、質問や意見を述べるができる。 ・ゼミでの討論から自らの研究課題を明確にすることができる。	(予習) 卒論テーマとして考えていることとその理由をまとめてくる。 (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスをもとに、次回のレジュメのための資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	○研究テーマの決定と研究計画書を作成する。 ○研究課題を明確にし、研究目的・内容・方法を検討する。	1. 演習：研究計画書の作成 2. 発表と討議：研究内容、研究方法の発表と討議	・ゼミで討議を行いながら、研究活動を決定することができる。 ・研究課題をもとに研究目的を明らかにし、研究内容・方法を考えて研究計画書を作成できる。	(予習) 研究テーマに関する文献や先行研究を収集する。 (復習) 研究目的・内容・方法を整理し、用語の定義を一覧に示す。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	○研究内容及び方法を検討する。 ・質問紙調査項目の検討 ・予備調査の実施と簡易分析 ・本調査用紙の作成と本調査の実施	1: 演習：調査用紙の作成 2: 発表と討議：調査用紙の内容及び予備調査・本調査の実施計画の発表と討議	・ゼミでの討議を行いながら、研究テーマを解明するための研究仮説を設定できる。 ・研究仮説の検証を行うための質問紙を作成できる。 ・予備調査結果に基づき、調査項目を修正し、本調査を実施できる。	(予習) 研究テーマ解明に関する質問紙を作成する。 (復習) 先行研究の調査項目や予備調査結果をもとに本調査用紙を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
16-20	○パソコンの用いたデータ分析方法を学ぶ。 ○データ入力、集計、分析を行う。 ・各自のデータ分析に最も相応しい解析法を選択し、データ分析を行う。	1. 講義：統計分析方法 2. 演習：データ入力と分析 3. 発表と討議：データ入力結果の発表と内容についての討議	・パソコンを用いてデータ分析を行うことができる。 ・各自のデータ分析に最も相応しい解析法を用い、データ分析ができる。	(予習) 先行研究で用いている分析手法を抽出してくる。 (復習) データ分析の結果を整理しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
21-25	○卒業論文を作成する。 ・結果の記載方法を学ぶ。 ・結果から読み取れることや考えられることを先行研究等と比較しながら、考察の書き方を学ぶ。	1. 講義：統計分析方法、論文の構成と書き方 2. 演習（個人作業）：論文作成 3. 演習（意見交換）：ペアでの卒論読み合い、疑問点等の発表	・データ分析した結果を本文に分かりやすく記載することができる。 ・結果から読み取れることや考えられることを先行研究等と比較しながら、考察を書くことができる。	(予習) 既卒生の卒業論文を閲覧し、完成すべき卒論のイメージをもつ。 (復習) 研究内容、仮説、研究方法、結果及び考察を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
26-30	○卒業論文及び要旨を完成する。 ○卒業論文発表用スライドの作成と発表練習を行う。	1. 講義：発表用スライド、卒論本文及び要旨の書き方 2. 演習（個人作業）：論文作成、発表スライド作成 3. 演習と討議：スライド発表をもとにした疑問点等の発表	・研究目的を解明する卒論であるかを吟味し、論文執筆ができる。 ・卒業論文発表用スライドの作成と発表練習を行う。	(予習) 卒業論文の全体構想を考える。 (復習) ゼミメンバーや指導教員のアドバイスに基づき、論文及び発表用スライドを修正する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148J	卒業研究(信太寿理)	信太寿理		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
DP1,2,3に記載されている、現代の子どもの生活問題に対する認識及び、専門的技術・技能を身につけ、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、社会人基礎力も習得した教育者・保育者の育成を目指す。 そのために、この科目では、4年間での学びの集大成として、心理学の観点からテーマを設定する。文献の追及や質問紙調査・アンケート等の実証研究を通して、自分の中にある疑問や考えを形にする楽しさや、今後の将来役に立つような知識や方法を蓄積することを目的とする。							
学修内容				到達目標			
① 現代社会における心の問題や、解決すべき課題を学習する ② 研究課題から研究目的を提示する ③ 研究目的にそって研究計画を立案する ④ 研究計画に基づき調査し先行研究の蓄積、データ収集・分析を行う ⑤ 論文を執筆し発表を行う				① 現代社会における心の問題について着目し、課題を説明できる ② 研究課題から研究目的を説明できる ③ 研究目的にそって研究計画を立案し説明できる ④ 研究計画に基づき調査し先行研究の蓄積、データ収集・分析を行うことができる ⑤ 論文・抄録を執筆し、発表を行うことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	研究課題と到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	研究遂行のために、必要な事項の調査や資料収集を行うことができる。					
考え抜く力	課題発見力	研究を行うにあたり、自身の体験だけでなく、先行研究から重要となる課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	現代の課題に対する解決を提案するにあたって、多面的に考えることができる。					
チームで働く力	発信力	研究調査した内容を的確な文章で、他者に分かりやすく表現することができる。					
	傾聴力	ゼミをはじめとした討議の場において、他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを遵守することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
心理学の卒業研究ワークブック発想から論文完成までの10ステージ/小塩真司・宅香奈子（著）/金子書房 その他、適宜、文献を紹介・配布する							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は、履修済みの全ての科目と関連する。							
学修上の助言				受講生とのルール			
授業では習うことよりも自分の考えを言葉や文章で表現することが必要になります。 インプットとアウトプットを積極的に行いましょう。				遅刻は原則として認めません。欠席扱いとします。ただし遅延証明書のある場合は考慮します。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		70	①			1年間の研究結果として研究目的に沿った内容、結果、考察になっていることが必要である。先行研究を丁寧に読み込み、問題、目的、方法、結果、考察の順に論文を作成する。
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①			ゼミでの発表の際に必要な情報や、討議したい内容を明確に示し、他者に分かりやすく伝えられるか、丁寧に資料を準備しているか、他者の意見を聞き入れられるか等を評価する。
					②			
					③			
					④			
					⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	主体性：研究課題と到達目標を設定し、自ら研究に取り組むことができる。 実行力：研究遂行のために、必要な事項の調査や資料収集を行うことができる。 課題発見力：研究を行うにあたり、自身の体験だけでなく、先行研究から重要な課題を見極めることができる。 創造力：現代の課題に対する解決を提案するにあたって、多面的に考えることができる。 発信力：研究調査した内容を的確な文章で、他者に分かりやすく表現することができる。 傾聴力：ゼミをはじめとした討議の場において、他者の意見を受け入れながら、自分の意見を述べるすることができる。 規律性：円滑に研究が進行するよう、ゼミで決めたルールを遵守することができる。			
				②				
				③				
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 論文執筆では、研究課題に沿った目的を明確にした上で、目的に適した方法を選択し、読み手にわかりやすい論文を執筆することができる。 発表では研究内容を聞き手に向かって、わかりやすく伝えることができる。 その他、学会等で発表ができる。 上記全て満たせばS、一部満たせばA	<ul style="list-style-type: none"> 指定された期限までに提出物（テーマ、発表要旨、論文等）を提出することができる。 論文では「目的」を明確にした上で、論文を書きあげることができる。 発表では指定時間内に研究内容を伝えることができる。 上記全て満たせばB、一部満たせばC

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	・オリエンテーション ・研究テーマについて検討する。	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	ディスカッションを行い、自らの研究課題を明らかにすることができる。	【予習】研究課題を絞り込むために文献の収集を行う。 【復習】授業内でのコメントを整理し、振り返りを行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	・研究課題(テーマ)の決定と研究計画の設計 ・研究課題を明らかにし研究目的、方法について計画を行う。	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	・ディスカッションを行いながら研究課題を達成するための研究方法を考える。 ・調査計画の作成、準備、実施ができる。	・文献の検討を行う。 ・研究目的に適した研究方法で調査を準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	・研究方法の検討を行う ・調査の準備・実施を行う	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	ディスカッションを行いながら研究課題を決定し、研究計画を立案することができる。	【予習】文献の繋がりを検討する。データ入力・集計・分析を行う。課題解決のための提案を考察・検討を行う。 【復習】授業内でのコメントを整理し、振り返りを行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	・データ入力・集計・分析 ・課題解決のための提案の考察・検討	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	ディスカッションを行いながらデータ分析することができる。 課題解決のための提案を考察・検討することができる。	【予習】データ入力・集計・分析を行う。課題解決のための提案を考察・検討を行う。 【復習】授業内でのコメントを整理し、振り返りを行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	・卒業論文の執筆を行う	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	ディスカッションを行いながら卒業論文を執筆することができる。	【予習】調査結果の解釈と図表の作成を行い、卒業論文を執筆する。 【復習】授業内でのコメントを整理し、振り返りを行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26-30	・卒業論文・要旨の執筆を進める ・発表資料の作成を行う ・ピアレビューを行う	プレゼンテーション ディスカッション 個人指導	ディスカッションを行いながら卒業論文・要旨を執筆し、発表資料を作成することができる。	【予習】卒業論文、要旨をまとめる。また、発表のための資料を作成し、準備を行う。 【復習】授業内でのコメントを整理し、振り返りを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148K	卒業研究(前田治) graduation Research	前田治		専門	4	必修	4通年

科目の概要

こども生活学科のDP①②、さらに目標「よき教育者育成」を受け、4年間での学びの集大成として、主体的に研究テーマを選択し、これまで大学の学修で獲得した知識を活用し、さらなる探求を通して、論理的な思考を学修する。テーマは、主に学校教育分野に関するものとし、今日的学校教育課題を明確にしたうえで、その課題解決に向けて研究目的、研究計画を立案し論理的考察を行う。

学修内容	到達目標
① 学校教育における現状と今日的課題、研究課題を明確にする ② 研究課題から研究目的を明確にする ③ 研究目的に従って研究計画を立案する ④ 究計画に基づき実地・文献調査等を実施し考察する ⑤ 論文・抄録を作成し発表する	① 学校教育における現状と今日的課題、研究課題を明確にすることができる ② 研究課題から研究目的を明確にすることができる ③ 研究目的に従って研究計画を立案することができる ④ 研究計画に基づき実地・文献調査を実施し考察することができる ⑤ 論文・抄録を作成し発表することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	研究のまとめに向けて、指示がなくても課題を自ら見つけ取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	学校教育の今日的課題解決のための手順や方法を考え発表等、行動をすることができる
考え抜く力	課題発見力	実地調査・文献の事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる
	計画力	
	創造力	題を追究するにあたり、多面的・多角的に考察し、新たな課題解決を創造することができる
チームで働く力	発信力	追究した内容を的確な文章で表現し、聴き手に分かりやすく発表することができる
	傾聴力	発表内容に耳を傾け、正確に理解するとともに、質問や感想・質問を行うことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	計画に基づき抄録・論文提出等の期限やルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

・適宜、文献の紹介やプリントを配布

他科目との関連、資格との関連

卒業研究は、教育関係につき専門知識・技能の集大成に位置付けられる科目であり、自立した社会人を目指す科目である。

- ・他教科との関連:履修済みの全ての科目
- ・関連する資格:

学修上の助言	受講生とのルール
・4年間の修学の集大成として研究論文を作成するために他の授業、就職活動と並行して努力すること。研究することの喜びや楽しさを感じてもらいたい。	・主体的に担当教員と連絡、相談を繰り返しながら、計画的に取り組むこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
		レポート		60	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>① 学校教育における現状や今日的課題、研究課題を深い洞察により明確にすることができる</p> <p>② 研究課題から研究目的を読み手が納得するように明確にすることができる</p> <p>③ 研究目的にそって期限内に研究計画を立案することができる</p> <p>④ 課題解決できる論文・抄録を作成し発表を行うことができる</p> <p>A以上の能力を有しているものをSとする。</p>	<p>① 学校教育における現状や今日的課題、研究課題を明確にすることができる</p> <p>② 研究課題から研究目的を明確にすることができる</p> <p>③ 研究目的にそって研究計画を立案することができる</p> <p>④ 論文・抄録を作成し発表を行うことができる</p> <p>※レベルBを満たしていない発表・レポート（作品）、又は提出遅れはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する	・オリエンテーション実施 ・文献検索 ・討議	・討議に参加し、自らの研究課題を明確にすることができる	(予習) プレ研究のレジюмеを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジюмеのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する	・文献検索 ・討議	・討議に参加し、自らの研究課題を明確にすることができる	(予習) プレ研究のレジюмеを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジюмеのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する	・文献検索 ・討議	・討議に参加し、自らの研究課題を明確にすることができる	(予習) プレ研究のレジюмеを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジюмеのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する	・文献検索 ・討議	・討議に参加し、自らの研究課題を明確にすることができる	(予習) プレ研究のレジюмеを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジюмеのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	・文献検索方法について学ぶ ・研究課題を絞り込むために文献検索を行い、抄読する	・文献検索 ・討議	・討議に参加し、自らの研究課題を明確にすることができる	(予習) プレ研究のレジюмеを作成する (復習) ゼミメンバーと指導教員のアドバイスを整理して、次回のレジюмеのための資料を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	・研究テーマの決定と研究計画書の作成 ・研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う	・討議	・討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる	(予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・研究テーマの決定と研究計画書の作成 ・研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う	・討議	・討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる	(予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	・研究テーマの決定と研究計画書の作成 ・研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う	・討議	・討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる	(予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの決定と研究計画書の作成 研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの決定と研究計画書の作成 研究課題を明確にし、研究目的、方法、内容について計画を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 目的に関連する用語の定義を調査する (復習) 用語の定義を一覧表にまとめる 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法の検討 アンケート調査の方法と作成(必要に応じて) 倫理審査に必要な書類の準備、審査 アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査の方法、作成、実施、倫理審査準備について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法の検討 アンケート調査の方法と作成(必要に応じて) 倫理審査に必要な書類の準備、審査 アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査の方法、作成、実施、倫理審査準備について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法の検討 アンケート調査の方法と作成(必要に応じて) 倫理審査に必要な書類の準備、審査 アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査の方法、作成、実施、倫理審査準備について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法の検討 アンケート調査の方法と作成(必要に応じて) 倫理審査に必要な書類の準備、審査 アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査の方法、作成、実施、倫理審査準備について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法の検討 アンケート調査の方法と作成(必要に応じて) 倫理審査に必要な書類の準備、審査 アンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら研究課題を達成するための研究方法を考え、アンケート調査の方法、作成、実施、倫理審査準備について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 研究構成を構築する (復習) 論文構成に従い資料を収集する 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成する データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 文献検索 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための実地調査を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成する データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 文献検索 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための実地調査を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
18	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成する データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 文献検索 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための実地調査を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
19	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成する データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 文献検索 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための実地調査を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
20	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成する データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 文献検索 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながらデータ入力・集計・分析することができる 課題達成のための実地調査を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
22	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
23	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
24	<ul style="list-style-type: none"> 結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う データ入力 集計・分析の方法 実地調査の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 討議 	<ul style="list-style-type: none"> 討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う 	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	・結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う ・データ入力 ・集計・分析の方法 ・実地調査の計画	・討議	・討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26	・結果及び考察をまとめ、論文を作成と抄録の作成を行う ・データ入力 ・集計・分析の方法 ・実地調査の計画	・討議	・討議を行いながら卒業論文、抄録を作成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
27	研究内容の発表 研究内容を学内の発表会で発表する 論文の修正があれば行う	・討議 ・発表	・討議を行いながら卒業論文を修正・完成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、次回のための文章作成を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
28	研究内容の発表 研究内容を学内の発表会で発表する 論文の修正があれば行う	・討議 ・発表	・討議を行いながら卒業論文を修正・完成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、論文を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
29	研究内容の発表 研究内容を学内の発表会で発表する 論文の修正があれば行う	・討議 ・発表	・討議を行いながら卒業論文を修正・完成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、論文を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
30	研究内容の発表 研究内容を学内の発表会で発表する 論文の修正があれば行う	・討議 ・発表	・討議を行いながら卒業論文を修正・完成することができる	(予習) 資料を駆使して論文を執筆する (復習) 修正部分を手直しして、論文を完成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148L	卒業研究(永津)	永津利衣		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
現代の子育てや教育における専門的な知識と技能を身に付け、課題解決に向けて、自立した社会人として自らの可能性を高め、社会に貢献できる人材の育成をめざす（DP2・3）。4年間の学びの集大成として、自らの関心から主体的に課題を発見し、研究計画を立て、文献やフィールドから情報を収集し、科学的な視点から分析や考察を行っていく。その成果を論文としてまとめ、わかりやすく発表する。研究テーマは、音楽的な関わりを通じた幼児教育や障害児教育・障害児保育、子育て支援に関する分野とする。							
学修内容				到達目標			
① 興味・関心のあるテーマの先行研究を行い、研究目的を明確にする。 ② 研究方法を検討し、研究計画を立てる。 ③ 研究計画に基づいて調査やフィールド実践などでデータを収集する。 ④ 収集したデータを分析し、考察を行う。 ⑤ 論文やスライド資料を作成し発表する。				① 興味・関心のあるテーマの中で、解決すべき課題を明らかにし、研究目的を設定することができる。 ② 研究方法を検討し、研究計画を立てることができる。 ③ 研究計画に基づいて調査やフィールド実践などでデータを収集することができる。 ④ 収集したデータを分析し、考察することができる。 ⑤ 論文やスライド資料を作成し発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標に向けて、自ら研究に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	研究遂行のために、粘り強く資料収集や調査を行い、推考し、執筆に取りかかることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を多面的な視点からとらえて比較や統合し、新たな考えを生み出すことができる。					
チームで働く力	発信力	内容を整理して的確な文章で表現し、わかりやすく発表することができる。					
	傾聴力	他の人の意見を聞き取り、的確に理解することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	計画に基づき、期限やルールを守って目標達成に向けて行動することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
研究テーマに応じて参考文献を適宜紹介し、資料を配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は卒業必修であり、これまで学んできた全科目の集大成となる位置づけである。							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の興味・関心から熱意をもって取り組むことのできるテーマを選ぶ。 計画に沿ってコツコツと取り組むとともに、常にアンテナを張って情報収集を行い、探求心を養う。 他者と議論を交わす中で視野を広げ、研究を深めていく。 				<ul style="list-style-type: none"> 無断欠席をしない。 資料を作成して進捗報告を行う。 社会人としての礼儀やマナーを意識して、他者と接すること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	70	①		✓	ゼミ内報告 (50点) ・各テーマごと (研究テーマ、先行研究のまとめ、研究目的の設定、データ収集の方法、分析の方法、研究計画の立案、データ収集の準備、データ収集の進捗、分析結果、考察) ごとにまとめて報告し、フィードバックを修正できる。 論文 (20) ・目的、方法、結果、考察と今後の課題の体裁が整えられている。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	20	①	✓	研究発表 (資料10点、発表10点) ・研究内容を体裁を整えて、わかりやすく伝えることができる。 ・質問に対して的確に答えることができる。			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 到達目標に向けて、自ら研究に取り組むことができる。 (実行力) 研究遂行のために、粘り強く資料収集や調査を行い、推考し、執筆に取りかか ることができる。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (創造力) 物事を多面的な視点からとらえて比較や統合し、新たな考えを生み出すことが できる。 (発信力) 内容を整理して的確な文章で表現し、わかりやすく発表することができる。 (傾聴力) 他の人の意見を聞き取り、的確に理解することができる。 (規律性) 計画に基づき、期限やルールを守って目標達成に向けて行動することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：研究成果として、これまでになかった新しい知見を示すことができること。 A(優)：論旨の展開の仕方が明瞭であり、かつ論考を基に整合性のある結果や考察を導き出している。	B(良)：研究目的に沿った論旨の展開、結果、考察になっていること。 C(可)：論文の体裁が整えられて書かれている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・文献検索方法について学び、関連文献を収集する。 ・関連文献を読み合わせ、研究課題を絞り込む。 	講義 グループワーク、ディスカッション ICT	研究課題を仮決定することができる。	予習 ①興味のあるテーマについて文献や新聞記事などを読み、そのテーマに潜むいくつかの観点を書き出す。 ②関連する文献を収集し、読み合わせの準備をする。 復習 ①関連論文を読み、論文の書き方をまとめる。 ②そのテーマの先行研究を要約し、まとめる。 ③研究課題をまとめる。	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究目的を決定する。 ・研究方法を検討する。 ・研究計画を立案する。 	グループワーク、ディスカッション 個人指導 ICT	研究目的にそって、研究計画を立てることができる。	予習 ①先行研究のまとめから見出した課題を基に、研究目的を考える。 ②妥当性・信頼性のある研究方法を検討してまとめる。 復習 ①研究計画を立案する。	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-15	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画に基づいて、調査やフィールド実践などでデータを収集する。 ・参考文献を収集する。 	個人指導 グループワーク、ディスカッション ICT	データ収集を行い、進捗状況を報告することができる。	予習：データを収集するための準備を行う。 復習：収集したデータを記録し、整理して報告できるようにする。	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-30	<ul style="list-style-type: none"> ・収集したデータを分析し、考察を行う。 ・論文執筆と、要旨やスライド資料の作成を行い、発表する。 	個人指導 グループディスカッション ICT	研究した内容について論文やパワーポイントにまとめ、発表することができる。	予習 ①自分の考えを根拠づけながらまとめる。 ②発表の準備や練習をする。 復習 検討した内容について推敲しながらまとめる。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330743148M	卒業研究(宮武里衣)	宮武里衣		専門	4	必修	4前期・後期
科目の概要							
4年間での学びの集大成として、主体的に研究テーマを選択し、正しい研究手法で研究し、論文に仕上げる。国語教育を中心に、言葉に関すること、文学に関することを切り口としながらも、人と関わる時の新たな発見ができるよう研究活動をする。そして、研究結果を論文として完成させ、わかりやすく発表することができるようにする。(DP2)							
学修内容				到達目標			
① 研究テーマを選定し、目的を設定する。 ② 研究課題から研究目的を明確にする。 ③ 研究方法を検討し、調査及びデータ分析・取材を行う。 ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成する。 ⑤ 研究内容を学内の発表会で発表する。				① 研究テーマを選定し、目的を設定できる。 ② 研究課題から研究目的を明確にすることができる。 ③ 研究方法を検討し、調査及びデータ分析または取材方法を獲得することができる。 ④ 結果及び考察をまとめ、論文を作成することができる。 ⑤ 研究内容を社会で活用できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	研究目標に向かって、課題を自ら見つけて取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて、情報を客観的に整理し課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	研究結果を多面的・多角的にとらえ、自分の視点から分析し、文章にまとめることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現でき、聴き手に分かりやすく発表することができる。					
	傾聴力	教員や他のゼミ生の意見を尊重しながら、自分の意見を的確に述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	計画的に進行し、期限を守るよう努力することができる。必要な時には教員や他のゼミ生との連携を上手にすることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
『大学生のための本日本語リテラシーとレポートライティング』宮武里衣(ナカニシヤ出版社) 参考資料・文献は適宜紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
「卒業研究」は全ての科目で学んだ知識・技能を活用して臨み、技能・思考力・判断力・表現力を発揮する科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
4年間の学修の集大成として研究論文を作成するために他の授業、就職活動と並行して努力すること。				スケジュール管理をしっかりと、見通しをもって臨むこと。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
				④							
				⑤							
	平常評価	小テスト		0	①						
					②						
					③						
					④						
					⑤						
		レポート		60	①	✓					<ul style="list-style-type: none"> ・期限までに提出物を提出することができる。 ・「目的」を明確にした上で、目的に適した「方法」を選択し、根拠を明らかにして論文を書くことができる。
					②	✓					
					③	✓					
					④	✓					
					⑤						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓				<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識したプレゼンテーションを作成し、指定時間内に研究内容をわかりやすく伝えることができる。 			
			②	✓							
			③	✓							
			④	✓							
			⑤	✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				<ul style="list-style-type: none"> （主体性）目標に向かって、指示を待たずに課題を見つけて取り組むことができる。 （実行力）手順や方法を模索して計画的に研究を進め、必要に応じて行動することができる。 （課題発見力）事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題の本質を見極めることができる。 （創造力）研究結果を多面的・多角的にとらえ、自分の考えで分析し、文章にまとめることができる。 （発信力）研究内容を整理して、聞き手を意識した発表することができる。 （傾聴力）教員や他のゼミ生の意見をよく聞き、それを把握した上で、自分の意見を述べるることができる。 （規律性）計画性をもって進行し、期限を守るよう努力することができる。 			
			②	✓							
			③	✓							
			④	✓							
			⑤	✓							
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A(優)・指定された期限までに提出物を提出することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文では「目的」を明確にしたうえで、目的に適した「方法」を選択し、「結果、考察、まとめ」を読み手にわかりやすく書くことができた。 ・発表では指定時間内に聞き手にわかりやすく伝えることができた。 <p>S(秀)・上記3点に加え、研究内容に独自性があり、学生の前で工夫しながら発表できた場合。</p>	<p>B(良)・指定された期限までに提出物を提出することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文では「目的」を明確にした上で、「方法、結果、考察、まとめ」を書くことができた。 ・発表では相手意識をもって研究内容を伝えることができた。 <p>C(可)・Bの項目のうち、一つでも認められない場合。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1-2	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文についての年間計画を立てる 文献検索方法に関して図書館の利用方法を学ぶ 過去の研究テーマを知る 設定した課題の文献を情報読みする 	討議 調査	研究課題を明確にすることができる	(予習) 研究テーマを検討する (復習) 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、情報読みする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3-5	<ul style="list-style-type: none"> 図書館において、文献検索方法について学ぶ 過去のテーマを検索する 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、情報読みする 	討議 個別指導 調査	先行研究を読み込み、研究課題の方向性を確定できる。	(予習) 先行研究を読む (復習) 研究課題を絞り込むために文献検索を行い、情報読みする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6-8	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマの決定と研究計画書の作成をする 研究課題を明確にし、研究目的、方法を考える 	討議 個別指導	研究課題を決定し、研究計画書を作成することができる	(予習) 研究計画を立てる (復習) 研究課題を明確にし、計画の実行性を考える	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
9-10	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づいて、研究をすすめる 研究のための文献の収集、フィールド調整をする 予備調査、研究に基づいて、仮説を立てる 	個別指導 フィールド調査	調査研究を行うフィールドを調整することができる	(予習) 文献読了をすすめる (復習) 研究課題を明確にし研究目的、方法、内容について計画を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11-13	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法を検討する アンケートやインタビュー調査の場合は、項目の検討と日時の折衝をする。 予備調査、研究に基づいて、仮説を立てる。 	討議 個別指導	ゼミ内討議に積極的に参加して、研究方法をよりよいものにすることができる。	(予習) 調査の準備をする (復習) 研究方法を検討し、調査を行う	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14-15	<ul style="list-style-type: none"> 研究方針に基づいてフィールド調査を行う 記録の分析方法を知る 	個別指導	フィールド調査の分析方法が理解できる	(予習) 調査の準備をする (復習) 記録の分析を進める		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
16-20	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの集計及び、取材のまとめをする 文献の分析をする 論文執筆要領を理解する 論文執筆を進める 	個別指導	章の内容を考えたうえで、目次を立てられる	(予習) 調査結果を表やグラフにし、考察を進める。 (復習) 表やグラフを考察して、論文執筆要綱に則り、論文を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21-25	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の作成、抄録の作成 文章の推敲 	個別指導	文章を推敲しながら、論文執筆を進めることができる	(予習) 論文執筆する (復習) 論文執筆要綱に則り、論文を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
26-29	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の仕上げ、抄録の作成 発表のためのパワーポイント作成 発表原稿の作成 	個別指導	文章を推敲しながら、論文執筆を進めることができ、発表のための論文要旨がまとめられる論文の内容を発表時間に合わせて話すための筋書きができる	(予習) 論文執筆し、発表のためのパワーポイントを作成する (復習) 論文執筆要綱に則り、論文を作成し、時間内に発表する練習をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
30	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究提出の準備をし、研究発表の練習をする 	討議 個別指導	わかりやすいパワーポイントができ、所定の時間内に発表ができるよう練習することができる	(予習) 時間内に発表する練習をする (復習) 論文を推敲し提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力